

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立東陽中学校



大阪市立東陽中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果より

○結果の概要

令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の結果においては、国語は全国比より 3.2P、数学は 3.3P 低かった。また、平均無解答率では、全国平均より国語は 2.3P、数学は 2.7P 低かった。

○分析から見えてきた課題

学習に関しては家庭学習に取り組む生徒と取り組まない生徒との差がある。令和 7 年度の「全国学力・学習状況調査」では、「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合が 8.0P おり、放課後学習会等で個別の自主学習への支援が必要である。また、授業者側の項目では「めあて・ねらい」の提示や話し合い等、授業内容や ICT 機器の活用による授業の工夫も進めており、「全国学力・学習状況調査」の結果では、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることがあります」は、84.1P (前年度 83.9P) と向上させることができた。

○今後の取組

学校全体は、近年落ち着いた環境で教育活動が行われている。各教科で履修する内容を様々な学習方法や内容に関して、生徒にとって魅力ある授業づくりが行われている。

今後、学習に関しては予習復習を行う生徒の個人差が大きいことから、学習習慣定着のための支援が必要である。ICT 等の更なる活用により生徒の興味関心を高め、一人ひとりの生徒へのきめ細かい指導や、入り込み等による習熟度別学習の充実が必要である。生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるように授業を進めていく。

学校元気アップ事業による放課後学習会の開催や、英語検定・漢字検定等の継続、学習に対する意欲の向上を図る取組みを進めていく。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

○結果の概要

令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、50m 走、20m シャトルランの平均記録が前年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果よりすべての種目で向上させることができた。引き続き記録の向上ができるよう取り組んでいく。

【男子】	(R6)	(R7)	【女子】	(R6)	(R7)
50m 走	7.87	⇒7.72	50m 走	8.58	⇒8.49
20M シャトルラン	78.44	⇒86.50	20M シャトルラン	58.32	⇒61.83

・令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における各学年の合計得点は、全国比男子 0.02P、女子 5.58P 低かった。年間を通してさまざまな種目を取り入れ、基礎体力の定着だけでなく、運動やスポーツに対する関心や前向きに取り組む姿勢等を身につけながら、体力の向上に取り組んだ。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度末の年度目標アンケートにおいて「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。
- 令和 11 年度末の年度目標アンケートにおいて「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」にたいして、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度末の学校アンケート調査において「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を前年度（R7 68.5%）より向上させる。
- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上とする。
- 学校閉庁日を年間で 5 日以上設定し、年次有給休暇を 5 日以上取得する教職員の割合を 100%にする。
- ゆとりの日（定時退庁日）については、月 4 回以上設定する。

2 中期目標達成に向けた年度目標

学校の年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。
- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 令和 8 年度末の学校アンケート調査において「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 65%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率を府平均正答率以上にする。
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を前年度（R7 68.5%）より向上させる。
- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上とする。
- 学校閉庁日を年間で 5 日以上設定し、年次有給休暇を 5 日以上取得する教職員の割合を 100%にする。
- ゆとりの日（定時退庁日）については、月 4 回以上設定する。

本年度の自己評価結果の総括

--

(様式例 2)

大阪市立 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。 ○令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上とする。 ○令和 8 年度末の学校アンケート調査において「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 いじめ・差別を許さない学校づくりを推進し、いじめアンケート調査等・生徒教育相談を定期的に実施し、生徒理解を深め、学習環境を整える。(生活指導部)	
指標 いじめアンケート年 3 回実施、生徒教育相談アンケート年 2 回実施。今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合 100%を目指し、生徒の教育環境を整える。	
取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 こども相談センター、警察機関、区役所(子育て支援室)やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携や相談し、生徒の安全・安心な学習環境の構築に取り組む。(生活指導部)	
指標 東成区学警連絡会等で生徒の情報交換を行い、生活指導の方向性を確認する。また、道徳教育を充実させ、暴力行為を件数の割合の 0.5 以下を目指す。	
取組内容③【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 年間指導計画にそって、防災・減災に関する授業(講話、説明、地域防災訓練への参加)。「警備及び防災の計画」「学校安全管理マニュアル」等に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。(健康教育部)	
指標 火災想定避難訓練(年 1 回)地震想定避難訓練(年 1 回)救急救命法(AEDを含む)の講話(年 1 回)を実施する。ふれあい地域防災交流会を実施する。	
取組内容④【基本的な方向 2、安全・安心な教育の推進】 人権学習の年間計画を立て計画的実践し、人権に関する芸術鑑賞実施し、人権学習に取り組	

んでいく。 （ 人権教育委員会 ）	
指標 芸術鑑賞前後に人権学習を実施する。	
取組内容⑤【基本的な方向 2、安全・安心な教育の推進】 社会体験活動（職業講話、ボランティア活動等）実施し、自分の将来を考えるよう指導する。また、進路選択への情報提供をきめ細かく行う。（キャリア教育）	
指標 社会体験活動（職業講話、ボランティア活動等）を実施し、また、高校体験等に積極的に参加させ、自分の将来の夢や目標を持てるよう指導する。	
取組内容⑥【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 部活動体験や小中教職員の授業交流や清掃交流を実施する。 （生活指導部、教務部）	
指標 事業後アンケート等での検証。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市長 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 65%以上にする。 ○中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率を府平均正答率以上にする。 ○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル (英検 3 級) 相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を前年度 (R7 68.5%) より向上させる。 ○令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑦【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 「自主学習習慣の確立」をめざし、放課後や長期休業中などの生徒自主学習時間を設定し、生徒の自主学習を支援する。 (各学年)	
指標 令和 8 年度の学校アンケートで「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う」の肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。	
取組内容⑧【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 各教科の学習活動において、言語活動や ICT 機器を活用した授業を展開し、読解力、コミュニケーション能力、資料活用能力の向上を図る。 (ICT)	
指標 令和 8 年度末の学校アンケート「学習端末などの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う」の肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 ・令和 8 年度末の学校アンケート「わたしは、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。	
取組内容⑨【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 教職員の資質向上に向けた校内研究授業を実施し、授業力の向上を目指す。	

指標 全教職員が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究授業を年に1回以上行う。	
取組内容⑩【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 小中連携による英語教育の推進。それぞれの学年の英語力の向上をめざす。また、英検 IBA を1、2年生全員受検させる。(1年生はテストD、2年生はテストC)(英語科)	
指標 英検 IBA を受検し、1年生は5級以上、2年生は4級以上の英語力を有する生徒の割合を1年生は5級以上90%以上、2年生は4級以上の割合を前年度以上に する。3年生は、大阪市英語力調査におけるC E F R A 1レベル相当以上の英語 力を有する中学3年生の割合(4技能)を前年度(43.0%)より向上させる。	
取組内容⑪【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 基礎学力の定着のため、授業を大切にする意識を持たせ、わかりやすい授業を推進し、国語、 数学、英語の授業においては、ティームティーチングや習熟度別少人数授業を実施し、基礎・ 基本の定着と、発展的内容の指導の充実を図る。(各教科)	
指標 年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」項目に対して肯定的 な回答をする生徒の割合を80%以上にする。 ・年度末の生徒アンケートにおける「授業を熱心に受けている」項目に対して肯定 的な回答をする生徒の割合を85%以上にする。	
取組内容⑫【基本的な方向5、健やかな体の育成】 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 上回る。(保健体育)	
指標 令和8年度末の学校アンケート調査において「運動(体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」の肯定的に回答する生徒の割合を80%以上に する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市長 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○令和 8 年度末の年度目標アンケートにおいて「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上とする。 ○学校閉庁日を年間で 5 日以上設定し、年次有給休暇を 5 日以上取得する教職員の割合を 100%にする。 ○ゆとりの日 (定時退庁日) については、月 4 回以上設定する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑬【基本的な方向 6 教育 D X の推進】 授業などにおいて、プロジェクターやタブレットなどの ICT 機器を有効に活用し生徒が意欲的・主体的に取り組める授業を行う。(ICT)	
指標 令和 8 年度末の学校アンケート調査において「学校の授業で、学習用端末などの ICT 機器使用している」の肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。	
取組内容⑭【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 メンターを中心に、若手教員を育成する。(メンター)	
指標 若手研修会を年 2 回以上実施する。	
取組内容⑮【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を設定 (定時退勤) や休業期間中の閉庁日を設定し、長時間勤務にならないよう教職員の働き方改革を推進する。(管理職)	
指標 ゆとりの日については、月 4 回以上設定する。学校閉庁日については、年間で 5 日以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



令和 8 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--